

県外派遣報告書

栃木県バスケットボール協会 審判部

大会名	関東中学校バスケットボール茨城大会	開催地	茨城県
報告者名	若林 謙作、慶野 芽以、倉持 雄一	派遣期間	令和 3年 8月 9日 ~ 11日
参加者 (敬称略)	<p>本部:平原勇次(関東審判長) 茂泉圭治(関東副審判長代理) 指名:長谷川裕(神奈川) 加藤暁生(東京) 大井陽平(埼玉) 群馬県:星野由貴 小澤朋克 石崎公一 塚越洋平 埼玉県:竹澤友美 若林哲 小柳幸子 齊藤大地 千葉県:岡崎武史 佐藤麻衣子 田村夏実 渡邊拓人 山梨県:手塚清孝 佐田幸一 古屋勝司 荻野健 東京都:上杉侑里子 齊藤貴嗣 押切安寿美 岩田明穂 神奈川県:藤本梨紗 大澤尚樹 粟田賢吾 佐々木琴美 栃木県:渡邊諭 若林謙作 慶野芽以 倉持雄一 茨城県審判員の方々</p>		
【審判会議内容】			
審判会議次第			
1. 挨拶			
	茨城県バスケットボール協会	審判委員長	中山 克則氏
	関東バスケットボール協会	審判委員長	平原 勇次氏
	関東中学校体育連盟バスケットボール専門部	審判委員長	藤代 透氏
2. 審判割当発表			
3. 連絡事項			
	【担当者】		
	マンツーマン 茨城県中体連マンツーマン委員会		吉水 湧樹氏
	その他連絡事項		
4. 質疑応答			

割当日:令和 3年 8月 10日			
審判員名	若林 謙作	相手審判	CC 平原勇次 氏(本部), U2 土田康隆 氏(茨城)
カード	男子2回戦	実践学園(東京)	対 埼玉栄(埼玉)
◇ ミーティングの内容			

・Lから判定してほしいケースがいくつかあった。			
・ショットクロックの管理などよくできていた。			
・声を使って、選手・ベンチとコミュニケーションを図ることを大切にする。			
・チームファウルや個人ファウルの数も漏らさず、処置ミスゼロに繋げていく。			

割当日:令和 3年 8月 11日			
審判員名	若林 謙作	相手審判	CC 加藤暁生 氏(指名), U1 大井陽平 氏(指名)
カード	男子決勝	松陰(千葉)	対 豊野(埼玉)
◇ ミーティングの内容			

・TとCの間でファウルが起こることが多かった。			
・ブラージになることはなかったが、どちらのプライマリーで起こった現象なのかを考えて判定する。			
・目の前で起きた接触を1つ1つ丁寧に判定していた。			
・Cの時に慌てて動いている印象がある。立ち姿を意識して見方を工夫していく。			

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】

今回は2泊審判員として大会に参加し、最終日はブロック大会では初めて決勝の割当を頂きました。

昨年度はコロナ感染症の影響で大会が中止になり、3年生にとっては不本意な形での引退を余儀なくされました。今年度は無観客で、観戦は保護者のみに限定し、感染対策を万全に取った上で大会が行われました。そんな中でこの大会ではありましたが、どの試合も非常にレベルが高く、白熱した試合が展開されました。

我々審判員も滞在日や滞在時間を限定され、通常とは違う形での参加となりました。限られた時間でのPGCや審判主任無しでの試合後のミーティング、慣れないことも多くありましたが、その中で改めて大切だと気付いたことがありました。それはPGCです。特にチームの情報はとても大切だと感じました。チームの戦術や選手の特徴などをクルーで共有することで、試合中に自信をもって判定できることがたくさんありました。今後もどんな大会でも事前に情報を調べ、クルーで共有できるような体制を整えていきたいと思います。新人戦など事前の情報がない場合では、試合中にできるだけ早く特徴を捉え、クルーで共有していきたいです。

最後に、今回このような経験を与えていただきました梶県審判長をはじめ県内審判員の方々に感謝申し上げます。また、茨城県の審判員の方々には細部に至るまでご配慮いただきました。改めて感謝申し上げます。

割当日:令和 3年 8月 9日				
審判員名	慶野 芽以	相手審判	(CC)藤本梨紗 氏(神奈川) (U2)佐々木琴美 氏(神奈川)	
カード	女子1回戦	七国(東京)	対	大島(茨城)
◇ ミーティングの内容				
・全体的にクルーで協力して試合を進めることができた。				
・ゲームの中で要所要所の判定を漏らさずに、丁寧に判定を続けることができた。				
・体の寄せ方の判定について				
→しっかり判定として表現できたケースもあれば、笛に表せなかった現象もあった。				
同様の現象に関しては、40分間を通して表現し続ける強さも今後必要になる。				
・トラベリングの整理について				
→DFの状況に関わらず、明らかなトラベリング(今回はボールのもらい方等で生じやすい3歩以上のステップ)はクルーで共有した上でもっと積極的に判定をするべきだった。				
・CIに関しては、ベーシックポジションを基本とするが、HighやLowの使い分けやペネトレイトの細かい動きをさらに意識する。				

割当日:令和 3年 8月 10日				
審判員名	慶野 芽以	相手審判	(U1)谷内里穂 氏(茨城) (U2)佐々木琴美 氏(神奈川)	
カード	女子2回戦	豊野(埼玉)	対	実践学園(東京)
◇ ミーティングの内容				
・Cの見方に関しては、前日の反省を踏まえチャレンジし続けることができた。				
・前半の競った時間帯におけるゲームの整理の仕方に課題が残った。				
ゲーム内におけるファウルのバランスはどうか。また、ファウルを取り上げている頻度や順番はどうか。				
→これらをヒントにしてもゲームコントロールに繋がる。				
・自分のプライマリーを超えた判定に関して				
まずは自分のプライマリーに集中する。無理に判定をしに行く必要はない。				
CCでもU1でもU2でも、取り組むべきことや意識するべきことは一緒。				

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】				
<p>今回は、1泊審判員として大会に参加し、女子1回戦・2回戦の割り当てをいただきました。また、ブロック大会では初めてCCとしての割り当てをいただき、大変勉強にもなり、そして有意義な2日間を過ごすことができました。</p> <p>今回担当させていただいたゲームは、点数が拮抗した場面もあり、どちらも大変白熱したゲームでした。そのような試合の中でも、自分で根拠を持ち、1ゲームぶれずに積極的に判定し続けることができた点は、今回の経験を通して大きな自信に繋がりました。一方で、CCとしてゲームを進めていく際のメンタルコントロールには課題が残りました。CCとしてどのようにゲームを進めていくかという考えが今回は先行してしまいましたが、何よりも大切なことは「クルー間での情報共有」であることを学びました。「私一人が」「誰かが」ではなく、いかにクルーで協力してゲームを進めていくか。PGCやゲーム中でのコミュニケーションにおいて、クルー各々が何を感じ、何を考えているのかをしっかりと共有してゲームに臨む大切さを身をもって実感することができました。これは当たり前のことではありますが、当たり前だからこそ、もっとそこにもこだわりを持って今後は一層臨んでいけるようにしたいです。</p> <p>今回の派遣に際しまして、ご配慮いただきました梶崇司県審判長をはじめ県内審判員の方々に感謝申し上げます。また、茨城県の審判員の皆様には大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。</p>				

割当日:令和 3年 8月 9日			
審判員名	倉持 雄一	相手審判	(CC)岡崎武史 氏(千葉) (U1)古屋勝司 氏(山梨)
カード	男子1回戦	朝日(茨城)	対 尾久八幡(東京)
◇ ミーティングの内容			
・ローテーションをスムーズに行なうために、Lがイニシアティブ			
・足元の確認(ミート, ゼロステップなど)			
・大きな現象は判定できている(コール・ザ・オビアス)			
・尾久八幡#10へのディフェンスの付き方を3人で注視するべき。			
・朝日#5のインテンシティコントロールとして、声掛け、コミュニケーションをとることも必要。			

割当日:令和 3年 8月 10日			
審判員名	倉持 雄一	相手審判	(CC)手塚清孝 氏(山梨) (U1)塚越洋平 氏(群馬)
カード	男子1回戦	埼玉栄(埼玉)	対 牛久南(茨城)
◇ ミーティングの内容			
・ローテーションをスムーズに行なうために、Lがイニシアティブ			
・エッジの上下をTとLで役割分担。Lの体の向き、アイコンタクトなどをして状況判断。			
・埼玉栄#4のディフェンスの守り方。			
・ボーナス、交代、タイムアウト、フリースローなどをレフリーが声掛けをしてスムーズに。			
・手の整理を3人で協力する。			

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】

今回は、1泊審判員として参加させていただきました。大会初日に男子1回戦、大会2日目に男子1回戦と計2試合の割当をいただきました。その中でA級の方と2試合担当させていただきましたが、自分の目の前を判定するのに精一杯になってしまい、クルーとのコミュニケーションが上手くとれない場面も多々ありました。また、目の前の判定も疎かになっていました。見えない接触を『誰かが見ている』という安易な考えで判定をし続けてしまいました。『見えないものを見るようにするための動き』をご指導いただき、2日目は意識して試合に臨みました。反省は多々ありましたが、動きを意識して目の前を判定できる場面があり、プレーを予測した結果である、と実感しました。今大会は、自分自身にとって大変有意義な経験でした。

最後に、今回の派遣に際しましてご配慮いただきました平原勇次関東ブロック長、梶崇司審判長をはじめ、県内審判員の皆様、そしてお世話になりました茨城県協会・審判員の皆様に心より感謝申し上げます。